



# 広域消防 おおず

第  
103  
号

2019. 1

構成市町  
大洲市  
内子町



平成30年11月30日、帝京幼稚園幼年消防クラブの園児が、DCMダイキ大洲店駐車場においてマーチング演奏を行った後、たいき産直市「愛たい菜」までの700mの距離を元気いっぱい  
にパレードを行い、火の用心を呼び掛けました。

大洲地区広域消防事務組合  
ホームページから、申請・  
届出の様式をダウンロード  
できます

<http://ozu119.jp/>

# ドクターヘリ普及啓発・大洲元気回復イベント開催



消防車両・ドクターヘリ展示場の見学状況

愛媛県では、傷病者の救命率の向上を目的として、平成29年2月からドクターヘリの運行を開始しています。

当組合では、このドクターヘリの普及啓発と、先の7月豪雨災害で被災した住民の元気回復を目的として、11月10日土曜日に大洲市東大洲のオズメッセ駐車場においてイベントを開催しました。

会場では、大洲消防署本署の救急隊・消防隊とドクターヘリとの合同訓練を披露し、実際の救急現場においてドクターヘリを要請した場合の活動を来場者に見ていただきました。訓練終了後、間近で見える機会の少ないドクターヘリや消防車両の展示会、はしご車の搭乗体験を行いました。

当日は天候にも恵まれ、大勢の来場者で賑わいました。

## ドクターヘリ活動実績

平成29年度中	
愛媛県全体	259件出動
うち大洲市	23件出動
うち内子町	7件出動
平成30年度(4~10月)	
愛媛県全体	162件出動
うち大洲市	11件出動
うち内子町	3件出動



救急隊から引き継いだ、負傷者をヘリ機内へ収容している状況



救急隊員による、負傷者の観察・処置状況

## 平成30年度新規採用職員紹介

本年度採用された左の5人は、松山市勝岡町にある愛媛県消防学校での約半年間の初任教育研修を修了し、現在、大洲消防署本署と内子消防署本署に配属され、日夜業務に励んでいます。

■ 大洲市春賀出身

**富永 克尚** (23歳)



■ 大洲市長浜出身

**矢野 拓真** (21歳)



■ 伊方町三崎出身

**玉里 将平** (20歳)




■ 内子町平岡出身

**谷田 芳樹** (19歳)



■ 内子町五十崎出身

**谷本 将史** (18歳)



# 初期消火者に感謝状贈呈

## 協力して初期消火

平成30年10月16日に大洲市若宮で発生した火災現場において、二人で協力して初期消火を行い、周囲への延焼防止を図り被害を最小限に抑えた功績を称え、大洲市春賀の佐々山吉一さんと内子町の松本雄一さんに当組合から感謝状を贈呈しました。

お二人の迅速で適切な対応に感謝いたします。



ゆういち  
松本 雄一 さん  
(前列左から2番目)

よしかず  
佐々山 吉一 さん  
(前列右から2番目)



# 「地域とともに」

大洲市消防団 大川分団 分団長 河内 裕治ゆうじ

大洲市消防団大川分団は、大川地区と蔵川地区を管轄し、団員数79名(うち機能別消防団員9名)で地域の災害出動をはじめ、毎月の機材点検や規律訓練など様々な活動を行っています。

過疎化が進む当地区は、団員の高齢化に加え、若手団員の確保が難しく、来年度は詰所の老朽化に伴う建替えに併せ、部の統廃合の話も出ています。今後は、地域の各組織と連携し、住民が安心して暮らせるよう努めて参ります。

今年度、大川分団は、消防操法大洲喜多地区大会の小型ポンプ操法に出場しました。大会では、消防後援会からの様々な支援や温かい激励を受け、準優勝という輝かしい成果を残し、分団初の県大会出場の切符を手にしましたが、7月の豪雨災害により、残念ながら県大会は中止となりました。

7月の豪雨による災害では、大川地区も甚大な被害を受け、その豪雨による水流は堤防を乗り越え、濁流となって低地の住宅を飲み込み、更には、地域の生命線である大川橋も流され、大川地区においては1名の尊い命が犠牲となりました。

私たち消防団も、前日からの巡回パトロールや土の積み、避難の呼び掛けを行いました。あつという間の出来事で成すすべもありませんでした。復興作業においては、団員の中にも被災者

が多数いましたが、「まずは、被災された住民の方々が先だ」と我が家の被災対応は後回しにし、自主防災組織をはじめとした地域住民と連携し、率先して活動を行いました。今後、火災出動は勿論のこと、近年発生が懸念されている南海トラフ地震や度重なる台風被害に備え、今一度消防団としてどう対応していくか確認し、各資機材等の点検、各部隊や地域の各組織との連携を深め、災害対策に取組んでいきたいと考えています。

最後に、今回の豪雨災害で復興に向けてご尽力頂いた各組織のみなさん、ボランティアの皆さんに深く感謝しお礼を申しあげたいと思います。



小型ポンプ操法の部で準優勝した、左から富永班長、餘家班長、西山団員、新山団員

# 大洲地区広域消防事務組合の人事行政の運営等の状況

大洲地区広域消防事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成17年条例第15号）に基づき、平成29年度の人事行政の運営等の状況を公表します。

## (4) 級別職員数の状況(H 30.4.1)

区分	標準的な職務内容	職員数(人)	構成比
1級	主事	37	35.2%
2級	主事	9	8.6%
3級	係長、主査	27	25.7%
4級	専門員	8(1)	7.6% (100.0%)
5級	課長補佐、支署長、副主幹	10	9.5%
6級	次長、署長、課長、副署長、主幹	13	12.4%
7級	消防長	1	1.0%
合計		105(1)	100.0% (100.0%)

※( )内は、再任用短時間勤務職員について外書き

## (5) 職員手当の状況

区分	内 容	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	配偶者 6,500円 扶養親族 6,500円 (子の場合 10,000円) 配偶者のない職員の扶養親族1人目 6,500円(子の場合 10,000円)。一定の年齢の扶養親族1人につき 5,000円を加算。	同	—
住居手当	借家居住者・家賃と12,000円の差額が11,000円に達するまでその差額を支給 (支給限度額 27,000円)	同	—
通勤手当	通勤距離片道 2 km以上 交通機関利用・普通運賃相当額 交通用具利用 2 km以上 …………… 2,000円 5 km以上 …………… 4,200円 10 km以上 …………… 7,100円 15 km以上 …………… 10,000円 20 km以上 …………… 12,900円 25 km以上 …………… 15,800円 ～ 31,600円	同	—
期末手当 勤勉手当	支給割合(29年度) 期末手当 2.6月分 勤勉手当 1.8月分 役職加算 5～15% 1人当たりの平均支給額 (H 29年度) 1,346千円	異	役職加算 5～20% 管理職加算 10～25%

## 1 職員の任免及び職員数に関する状況

### (1) 職員の採用・退職等の状況(H 29.4.2～H30.4.1) (人)

H 30.4.1 現在 現有数	退 職				採用	再任用
	定年退職	勲奨退職	その他	計		
105(1)	6	0	0	6	5	1(1)

※( )内は、再任用短時間勤務職員について外書き

### (2) 年齢別職員構成の状況(H 30.4.1) (人)

区 分	18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	計
職員数	11	19	8	12	8	
区 分	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～59歳	60歳以上	計
職員数	17	4	13	12	1(1)	

※( )内は、再任用短時間勤務職員について外書き

### (3) 階級別勤続年数の状況(H 30.4.1) (人)

階 級	5年未満	5～14年	15～24年	25～34年	35年以上	計
消 防 監					1	1
消防司令長					5	5
消 防 司 令				3	7	10
消防司令補			18	10	5(1)	33(1)
消 防 士 長		8	6	1		15
消防副士長		7		1		8
消 防 士	27	6				33
計	27	21	24	15	18(1)	105(1)

※( )内は、再任用短時間勤務職員について外書き

## 2 職員の給与の状況

### (1) 人件費の状況(普通会計決算)

区 分	歳出額A (千円)	実質収支 (千円)	人件費B (千円)	人件費率 B/A	平成 28年度の 人件費率
平成 29年度	1,061,215	25,057	801,331	75.5%	83.7%

※人件費には、特別職に支給される報酬等を除きます。

### (2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況(H 30.4.1)

区 分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
組 合	273,690円	349,422円	37.7歳
国	329,845円	410,940円	43.5歳

### (3) 職員の初任給の状況(H 30.4.1)

区 分	組 合	国
大 学 卒	179,200円	179,200円
高 校 卒	147,100円	147,100円

(2) 休暇の取得状況

区分	職員数 (人)	特別 休暇 (日)	病気 休暇 (日)	年次有 給休暇 (日)	年次有給休暇の 平均取得日数 (日)
毎日勤務者	15	64	9	166	11.1
隔日勤務者	91	293	57	744	8.2
合計	106	357	66	910	8.6

6 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 研修の実施状況

区分	研修内容	研修期間 (日)	受講者 (人)
消防大学校	専科教育(救助科)	51	1
消防学校	初任教育	116	6
	専科教育(警防科、救急科、予 防査察科等)	10~39	9
	幹部教育(初級幹部科)	10	1
先進地消防 本部研修	予防業務実務研修 (松山市消防局)	61	1
救急救命 研 修	救急救命士養成課程	126	1
	救急救命士処置拡大追加講習	5	6
	救急救命士気管挿管病院実習	30 症例	2
愛媛県 研 修 所	市町課長級研修	2	2
	専門研修	2	3
自主研修	接遇・礼節に係る実務研修	—	35
	人権同和教育研修	—	77
	道路交通法令講習	—	47
	安全運転技能研修	—	50

(2) 勤務成績の評定の状況

昇任試験を定期的実施しており、試験の結果と併せて、職員の勤務実績や能力を評価し、昇任、昇格、人事異動に反映させている。

7 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 健康診断等の受診状況

(人)

一般定期健康診断受診者	120
人間ドック受診者	62
H B s 抗体検査受診者	81

※隔日勤務者は、人間ドックを含め年2回の健康診断を実施している。

(2) 公務災害・通勤災害の認定状況

区分	認定件数	災害の概要
公務災害	1件	公務上の退勤による負傷
通勤災害	0件	—

(3) 福利厚生制度に係る負担

区 分	負 担 額
愛媛県市町村職員共済組合	126,545千円
愛媛県市町村職員互助会	719千円

3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況

勤務種別	1日の勤務	休憩時間	週 休 日
毎日勤務	8時30分～ 17時15分	60分	土・日曜日
隔日勤務	8時30分～ 翌日の8時30分	60分 2回	4週を通じて8日

(2) 主な特別休暇など

種類	休暇の概要、取得の要件など	
有給 休暇	年 次 有給休暇	1年につき20日(前年の繰越日数の上限20日のため、最高40日)
	病 気 休 暇	負傷または疾病のため、医師の診断により治療する必要がある場合
無給 休暇	特 別 休 暇	主な休暇～公民権の行使、産前休暇、産後休暇、忌引、結婚休暇、夏季休暇、短期介護休暇など
	介 護 休 暇	負傷、疾病または老齢により、2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をする場合

4 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分者数

処 分 事 由	処分の種類			
	降任	免職	休職	降給
勤務実績が 良くない場合	地公法第 28 条 第 1 項第 1 号			
心身の故障の 場合	地公法第 28 条第 1 項 第 2 号第 2 項第 1 号			
必要な確性を 欠く場合	地公法第 28 条 第 1 項第 3 号			
職制・定数の改 廃予算の減少に より廃職・過員 を生じた場合	地公法第 28 条 第 1 項第 4 号			
刑事事件に関し 起訴された場合	地公法第 28 条 第 2 項第 2 号			

(2) 懲戒処分者数

処 分 事 由	処分の種類			
	戒告	減給	停職	免職
法令に違反した 場合	地公法第 29 条 第 1 項第 1 号			
職務を怠った 場合	地公法第 29 条 第 1 項第 2 号			
非行のあった 場合	地公法第 29 条 第 1 項第 3 号			

5 職員の服務の状況

(1) 服務規律の遵守に関する取組みの状況

通達の発出や各種研修を実施し、職員の服務規律の遵守に務めている。

# 救急功労者表彰

平成30年度救急功労者表彰式が、9月10日、東京都内のホテルで開催され、大洲中央病院の大久保啓二院長が総務大臣から表彰されました。大久保院長は、地域医療の問題化に積極的に取り組み、救急業務の高度化や救急研修体制の確立に尽力されています。



# カメラリポート



10月21日(日)

白滝自主防災組織が消火栓・消火器取扱い、土のう作成等の訓練を行いました。



9月14日(金)

内子消防署において、外国人を対象とした救急法講習会を行いました。



10月28日(日)

平野自主防災会が避難訓練やロープワーク等の訓練を行いました。



10月25日(木)・26日(金)

大洲市総合福祉センターにおいて、甲種防火管理新規講習が開催されました。



11月14日(水)・15日(木)

内子消防署において、内子中学校生徒3名が職場体験学習を行いました。



10月28日(日)

今坊自主防災組織がロープワーク、土のう作成、搬送法等の訓練を行いました。

救急病院案内(0893)24-7000		
曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	(0893) 24-2151
水	加戸病院	(0893) 44-5500
木	昼間 大洲記念病院 (8:30~17:30)	(0893) 25-2022
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~8:30)	(0894) 22-3211
金~日	大洲中央病院	(0893) 24-4551

※ 当直病院の交替(木曜日の昼間と夜間の交替以外)は、担当曜日最後の翌朝8時30分です。

大洲喜多休日夜間急患センター	
診療科目	「内科」初期救急
診療時間	平日・土曜 午後8時~午後11時 日曜・祝日 午前9時~午後6時
電話番号	(0893) 23-1156

平成31年1月発行 発行・編集 大洲地区広域消防事務組合  
〒795-0012 愛媛県大洲市大洲1034-4

代表 ☎24-0119 大洲消防署 ☎24-0119  
 総務課 ☎24-2666 長浜支署 ☎52-0119  
 予防課 ☎24-2667 川上支署 ☎34-2851  
 警防課 ☎24-2668 内子消防署 ☎43-0119  
 小田出張所 ☎0892-52-3292

ホームページ <http://ozu119.jp/>